

らくよう

楽しく 陽るく 荘全体で
お年寄りの人権を守ります。
その方らしい生活が出来るよう応援します。
最後までお世話させていただき準備ができています。
特別養護老人ホーム楽陽荘 平成30年3月号 NO. 295

《 地域交流会 》



毎年恒例の柞田老人会と婦人会、柞田保育所の子供達と楽陽荘のお年寄りとの交流会がありました。子供達のダンスや大人の方々のフラダンスや日本舞踊などの後子供達とのふれあいもありました。ふれあいはホールに居る人全員と子供達みんなて手を取りあったり肩をたたいてもらいながら幸せそうでした。昼食は老人会から頂いた200玉のうどんをみんなで美味しくいただきました。子供達は「ここのおうどんは温かくて日本一いや世界一美味しい」などとおかわりもしていました。大勢で食べたうどんの味は楽陽荘の思い出と一緒に心に残ると思います。



《 大正琴慰問 》

大正琴愛好会の中の4チームが慰問に来て下さいました。素敵な衣装でかわるがわるに大正琴で、お年寄りの大好きな「大勝負」「ふるさと」など馴染みの曲を沢山演奏され、お年寄りも、それに合わせて手拍子を取りながら大きな声で歌いました。曲の合間ではお年寄りとの演奏の掛け合いも、とにかく面白かったです。

《 柞田小学校慰問 》

2月16日柞田小児童会委員さんと合唱部の皆さんが楽陽荘に来て下さいました。合唱部は、今年も全国合唱コンクールに出場され、その成果を楽陽のお年寄りに披露して下さいました。美しい歌声に感激されておりました。図工作品と手作りメッセージカードを添え児童会からは「キャリーラック4台」の御寄贈がありました。これは生徒さん達が1年間アルミ缶を集めた収益金で買って下さった心のこもったプレゼントです。大切に便利に使わせていただきます。柞田小学校の皆様ありがとうございました。



《 お楽しみ食 》

今月のお楽しみ食の日は、お好み焼きとおでんでした。テーブルの上にはホットプレートやカセットコンロとおでん鍋が並んでいます。おむすびもありました。お好み焼きも焼き上がり、園内は美味しそうな匂いが満ちています。大騒ぎの昼食が始まりました。「おいしいわ」「もっとくれ」「おかわり」等とても賑やかでした。楽しい時間を過ごした夜は、ぐっすり良い眠りでした。

《 編集後記 》

今年の冬は格別に寒い日が続きました。毎日テレビで見たオリンピックの様子も寒そうでした。メダルを目指す選手の皆様方に精一杯の声援を贈る自分がいました。素晴らしかったですね。私達も「より良い介護」を目指して頑張っていきたいと思っております。

新聞担当：高島・大谷・松木